

## 宇宙の楽しいお話 その1 宇宙の落とし物・・隕石

宇宙物理学者 細谷 暁夫（新木野在住）

ソチオリンピックも終わりましたが、その金メダルに隕石が埋め込まれていたというニュースに着目した方も多かったのではないのでしょうか？その隕石は昨年の2月16日にロシアチェルクリに落下したもののかけらです。大きなニュースなので記憶に新しいところです。

新木も隕石とは無縁ではありません。私が、新木に移住した1996年1月7日に「つくば隕石」が落ちました。そのときの落下音を記憶している人が新木にもいます。落下した週には、利根川の河川敷をうろうろして隕石探しをしている人たちもいました。

この隕石はどこから来たのでしょうか？太陽系の火星と木星の間に小惑星と呼ばれる無数の小天体が廻っていますが、そこから軌道がそれて、たまたま地球の重力のために降って来たものと思われています。

AKB48の「隕石の確率」という歌にあるように、希なできごとの代名詞になっていますが、結構来ています。ロイドで一番安い隕石保険を受け取った人はいませんが、昼寝中に隕石がお尻に当たったお婆さんがアメリカにいたそうです。あまり知られていませんが日本は隕石大国です。南極の昭和基地が氷河の下流になっていて、隕石が集まるのだそうです。国内に落ちた隕石の多くは、国立極地研究所に寄贈されて研究に資されています。

隕石には、鉄を多く含むタイプとそうでないものの2種類があります。見かけは黒ずんだありきたりの石ですが、持つとずっしりしています。隕石は太陽系の46億年前の情報を保存しているので、その研究は重要です。太陽系は微惑星と呼ばれる小さい天体が衝突、合体をくり返して水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星ができたものです。そのはじめの微惑星のころから存在したものと思われています。それと関連した研究には、小惑星イトカワに着陸し、その塵を採取し帰還した「はやぶさ」プロジェクトがあります。



隕石が埋め込まれたソチオリンピックの金メダル



隕石落下の瞬間



隕石